

## 2018年7月8日（日）ときがわ仁志の森活動

天 候：曇り

参加者：12名

作業内容：ヤマツツジの周りの草刈り・作業道整備・ミツバチの巣箱の修理と設置

報告者 浅見

せせらぎホール駐車場に9時に集合し、4台の車に分乗して仁志の森へ向かいました。ウッドデッキで今日の活動の内容と注意点を聞いて9時40分に作業を開始しました。以前に設置した巣箱の中にハチの巣ができ、それを狙って動物が巣箱を破壊したらしい残骸がありました。強い力を持った動物が何なのかという話題ではハクビシン、タヌキ、クマなどが考えられるそうです。また作業中の注意としてハチに刺されることもあり、そのときはポイズンリムーバーを使って毒を吸い出すと痛みも少ないと説明がありました。改めてこの森づくりの活動は自然の中で行われていて、当然ながらリスクがあることを感じ、気持ちが引き締まりました。

作業内容は上記の3つですが、私は草刈りに参加しました。萩が丘小学校の児童たちが植えたというヤマツツジの周りの草を刈りました。かなりの急斜面で小学生がよく頑張ってくれたという感じです。7月ともなると草の勢いは手強いものでした。トゲのある草も多く軍手をしても貫通するものもあります。ヤマツツジもしっかり成長しているので、今まで支えていた竹の支柱と紐はかえて成長の妨げになりかねないので、必要ないものは外しました。周りの草が払われてヤマツツジがすっきり目立つようになると気持ちがいいものです。休憩して森を見回すとホオノキとトチノキが大きく成長しているのが見えます。似たような葉ですがホオノキは大きな単葉、トチノキは掌状複葉であることを教わりました。



作業前



作業中



作業後

約2時間で作業を終え、昼食を食べてから植物の同定をしました。これがとても勉強になります。諸先輩はとても詳しく次々と植物の名前を同定していきます。私は写真を撮って名前をメモするだけで精一杯でしたが、少しずつ覚えていきたいと思いました。1時すぎにせせらぎホールに戻って解散となりました。お世話になりました。



【同定した植物】

ゼンマイ (栄養葉)・リョウメンシダ・ジュウモンジシダ・ベニシダ・ハリガネワラビ  
タマアジサイ・アブラチャン・コクサギ・モミジイチゴ・フジウツギ・ニワウルシ  
アワブキ・モミジガサ・タケニグサ・マツカゼソウ・セイタカアワダチソウ・タチカタバミ  
ナンバンハコベ (?)・ホオズキ・ヌスビトハギ・ミズヒキ・ミゾソバ・コボタンヅル  
ヤマキツネノボタン・ツルニガクサ・アシボソ



タマアジサイ



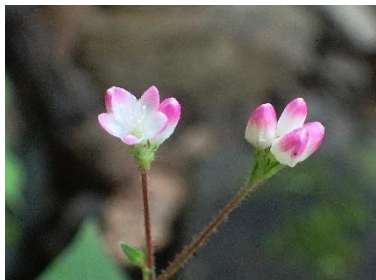
アブラチャン



フジウツギ



タチカタバミ



ミゾソバ



ヤマキツネノボタン



ホソバセセリ



サキグロムシヒキ



コナカイガラムシ